

第21回 読書メッセージコンテスト

受賞作から3作品を紹介します

素敵な本と出会いましょう

おすすめの本の紹介文を募る「読書メッセージコンテスト」。本との出会いが広がることを願って、村が毎年実施しているコンテストです。

第21回「読書メッセージコンテスト」の審査結果を公表します。受賞作は、昨年11月の審査会で決定。表彰式は、12月下旬に、村役場および「いたて希望の里学園」で行いました。最優秀賞を受賞した岡部真翔さんは、普段活字に触れるのは、雑誌などが多いそう。今回は、コンテストをきっかけに手に取った1冊を紹介。「本は、文章から情景を想像できるところが面白い」と読書の魅力を話してくれました。

素敵なメッセージをご応募いただいた皆様、ありがとうございました。

第21回 読書メッセージコンテスト 審査結果

	氏名	おすすめの本・作者
最優秀賞	岡部真翔 さん (希望の里学園 9年)	「シマが基地になった日」 真鍋和子
優秀賞	細川蒼空 さん (希望の里学園 1年)	「小学館の図鑑NEO植物」 山川史郎
	杉岡 響 さん (希望の里学園 6年)	「世界中から人身売買がなくなるのはなぜ？」 小島優/原由利子
	高橋琉悠寿 さん (希望の里学園 7年)	「時の輝き」 折原みと
	庄司大夢 さん (希望の里学園 8年)	「スマホが学力を破壊する」 川島隆太
	原田 朋 さん (深 谷)	「一人称単数『石のまくらに』」 村上春樹
JPIC賞	花井晴煌 さん (希望の里学園 2年)	「小学館の図鑑NEO乗りもの」 山川史郎
	阿部華瑠奈 さん (希望の里学園 6年)	「宮沢賢治」 西本鶏介
	木幡娃佑 さん (希望の里学園 8年)	「マカロン白書」 sanae
	巻野陽菜 さん (希望の里学園 8年)	「かがみの孤城」 辻村深月
	霜山利博 さん (深 谷)	「妻が願った最期の『七日間』」 宮本英司

普段自分では選ばない本との出会いを、ぜひ楽しんでみてください！

※受賞者の皆さんがおすすめした本は、交流センター「ふれ愛館」で借りることができます。お気に入りの1冊を見つけてください。P23にも関連記事があります。

戦争は人類が犯した過ちの中で最大の罪である。戦争の被害者の一部である沖縄県伊江島の人々の闘いが書かれてある。米軍の武力攻撃に言葉で対抗する勇敢な姿。戦争はしていけない。過ちは繰り返してはならない。人間ならば。



シマが基地になった日 真鍋和子 (金の星社刊)



最優秀賞
岡部真翔さん
(希望の里学園 9年)

ゆるせない。子ども達はみんな大人を信じている。なのになぜ、金のために人を売るなんてできるのだろう。僕達は、世の中で起きている闇を知り、もつと貧困や人権、差別問題に目を向けるべきです。あなたも考えてみませんか。



世界中から人身売買がなくなるのはなぜ？ 小島優/原由利子 (合同出版刊)



優秀賞
杉岡 響さん
(希望の里学園 6年)

彼女が残した言葉は、彼女がいなくなつてしまった今でも、確かに心の中に残り続け、彼女がいたことを証明し続ける。人が死んだあとには何が残るのだろうか。金かモノか。否、心だろう。あなたは生きた証に、何を残せますか。



一人称単数「石のまくらに」 村上春樹 (文藝春秋刊)



優秀賞
原田 朋さん
(深 谷)